

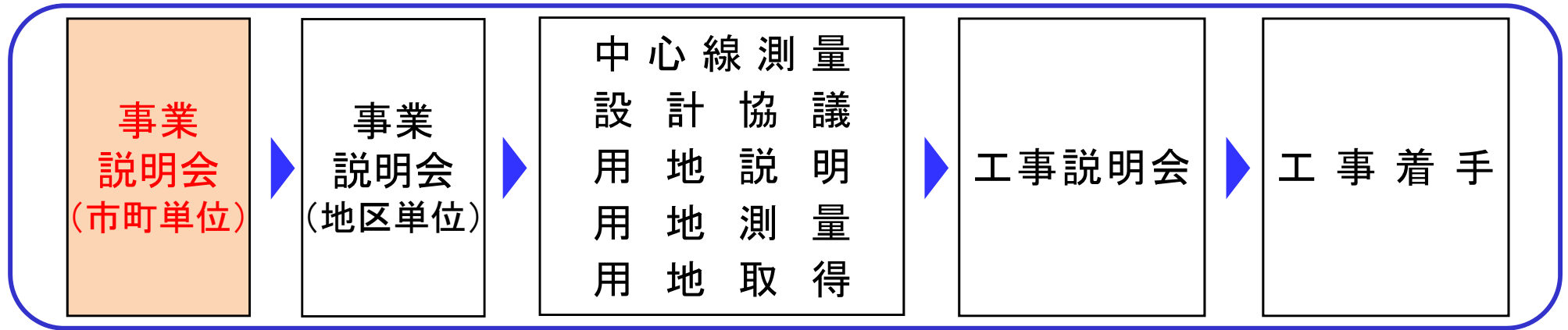
中央新幹線品川・名古屋間 事業説明会(恵那市)

平成26年11月11日(火)19:00～ 恵那文化センター(恵那市)



東海旅客鉄道株式会社

本日の説明会(事業説明会)の趣旨



- 本日は、工事实施計画の認可を受けて開催する「事業説明会」のうち、市町単位で開催するものです。
- 事業説明会は、市町単位で開催した後、より小さい地区の単位でも開催します。
- 事業説明会では、
 - 計画の概要
 - 環境保全の取り組みなどについて、ご説明します。

本日のご説明内容

- ① 事業の意義
- ② これまでの取り組み内容
- ③ 中央新幹線計画(品川・名古屋間)の概要
- ④ 中央新幹線の施設等の概要
- ⑤ 地区ごとの計画の概要
- ⑥ 環境保全の取り組み
- ⑦ 構造物設置、工事及び用地取得に伴う補償
- ⑧ 今後の進め方・予定

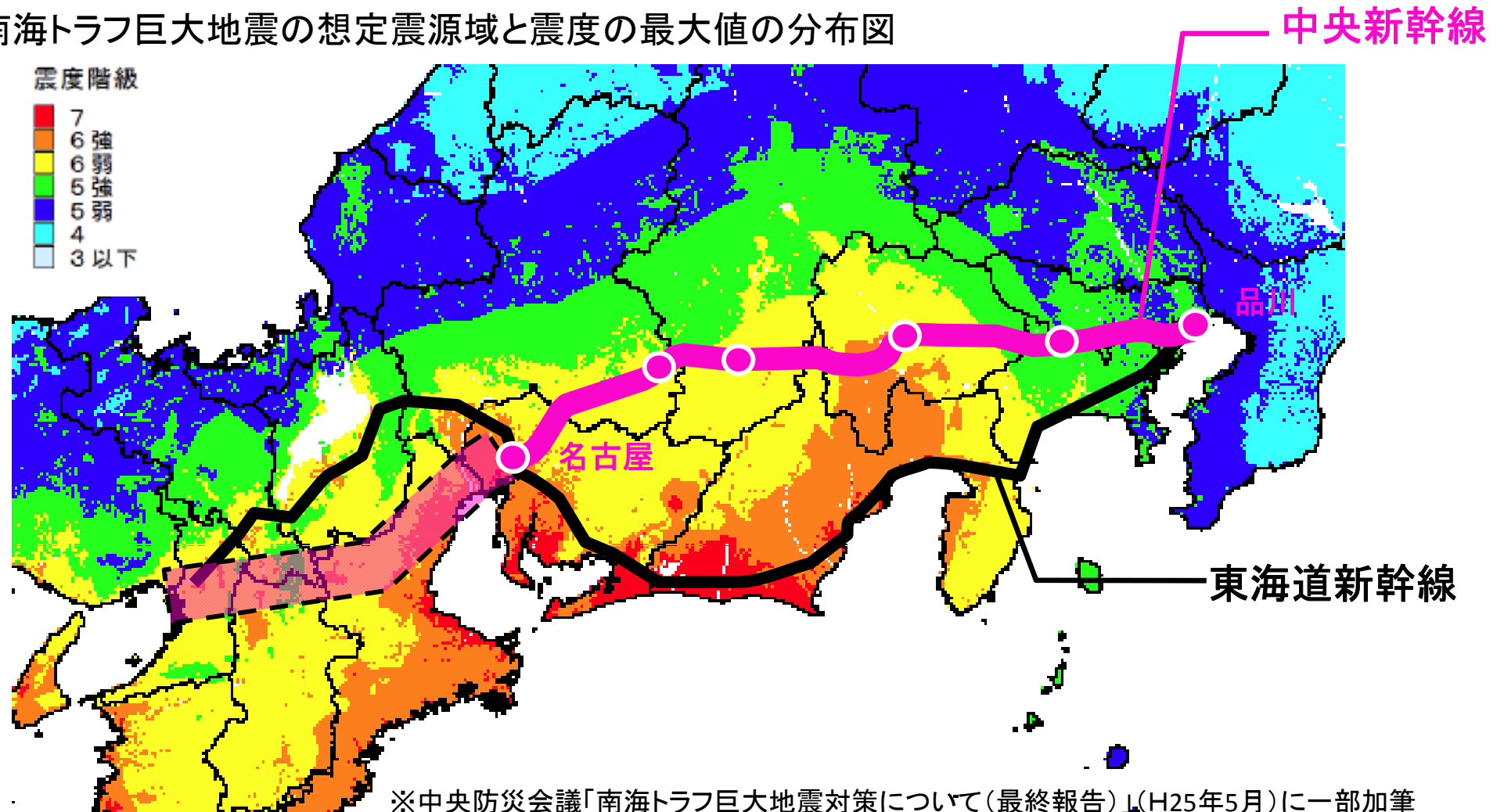
本日のご説明内容

- ① 事業の意義
- ② これまでの取り組み内容
- ③ 中央新幹線計画(品川・名古屋間)の概要
- ④ 中央新幹線の施設等の概要
- ⑤ 地区ごとの計画の概要
- ⑥ 環境保全の取り組み
- ⑦ 構造物設置、工事及び用地取得に伴う補償
- ⑧ 今後の進め方・予定

事業の意義(バイパスの整備)

- ◎東海道新幹線は、今年10月に開業50年。その経年劣化と東海地震など大災害に対する備えが必要。
構造物の耐震補強と大規模改修工事を進めるも、抜本的な備えは、中央新幹線による二重系化。

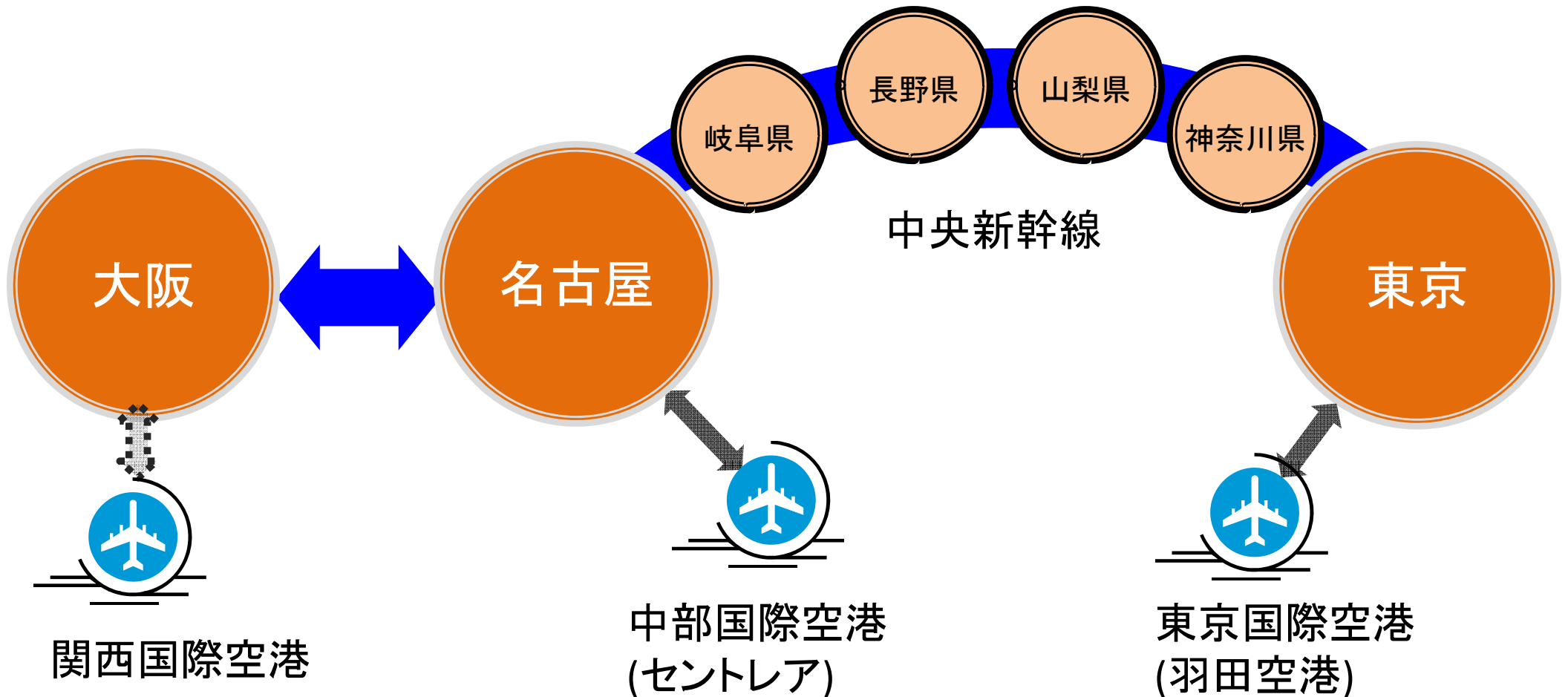
南海トラフ巨大地震の想定震源域と震度の最大値の分布図



※中央防災会議「南海トラフ巨大地震対策について(最終報告)」(H25年5月)に一部加筆

事業の意義(三大都市圏のアクセス向上)

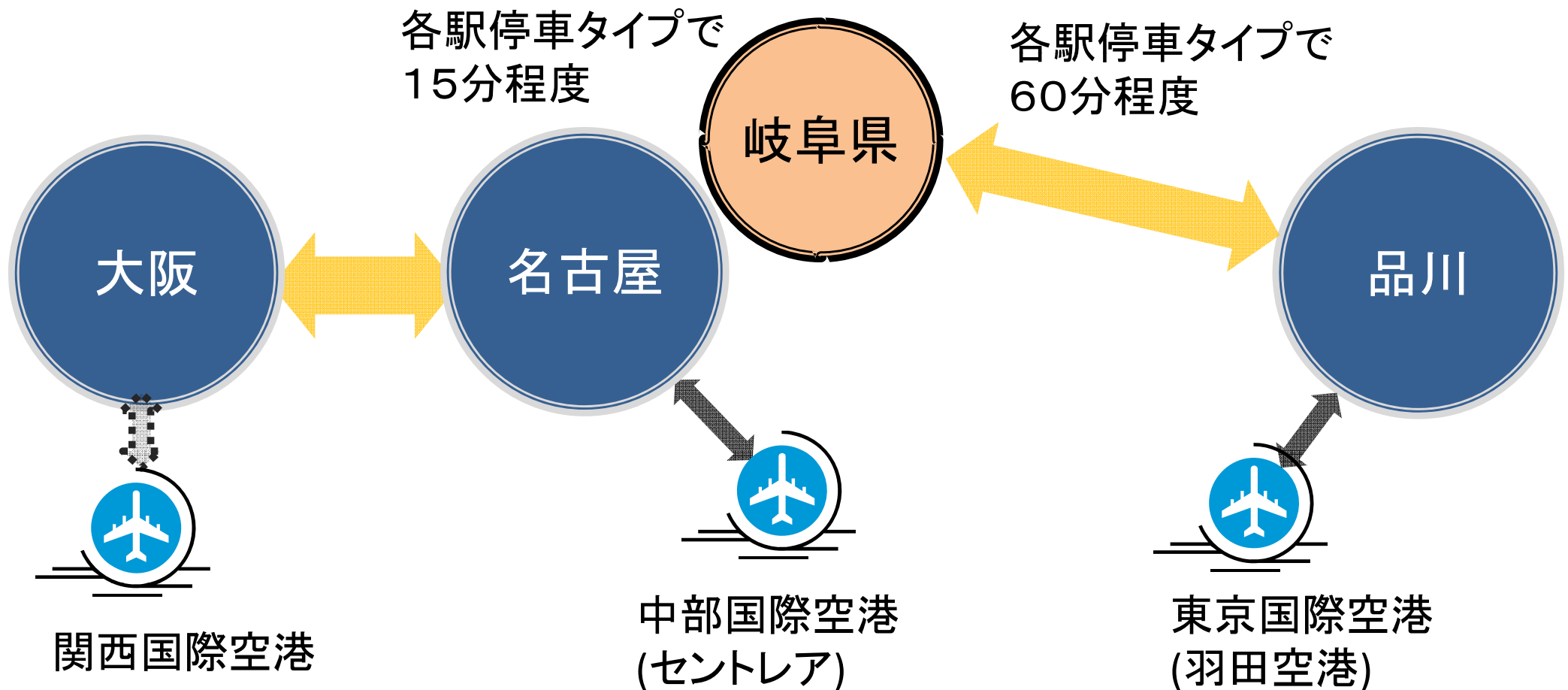
- ・三大都市圏が1時間圏内となり、1つの巨大都市圏が誕生します。
- ・東京・名古屋・大阪の各都市圏間や国際空港への移動が飛躍的に便利になります。



岐阜県と三大都市圏のアクセスが大幅に向上

- 岐阜県内から、東京・名古屋・大阪の各都市圏や国際空港への移動が飛躍的に便利になります。

中央新幹線による到達時分(現在の想定)



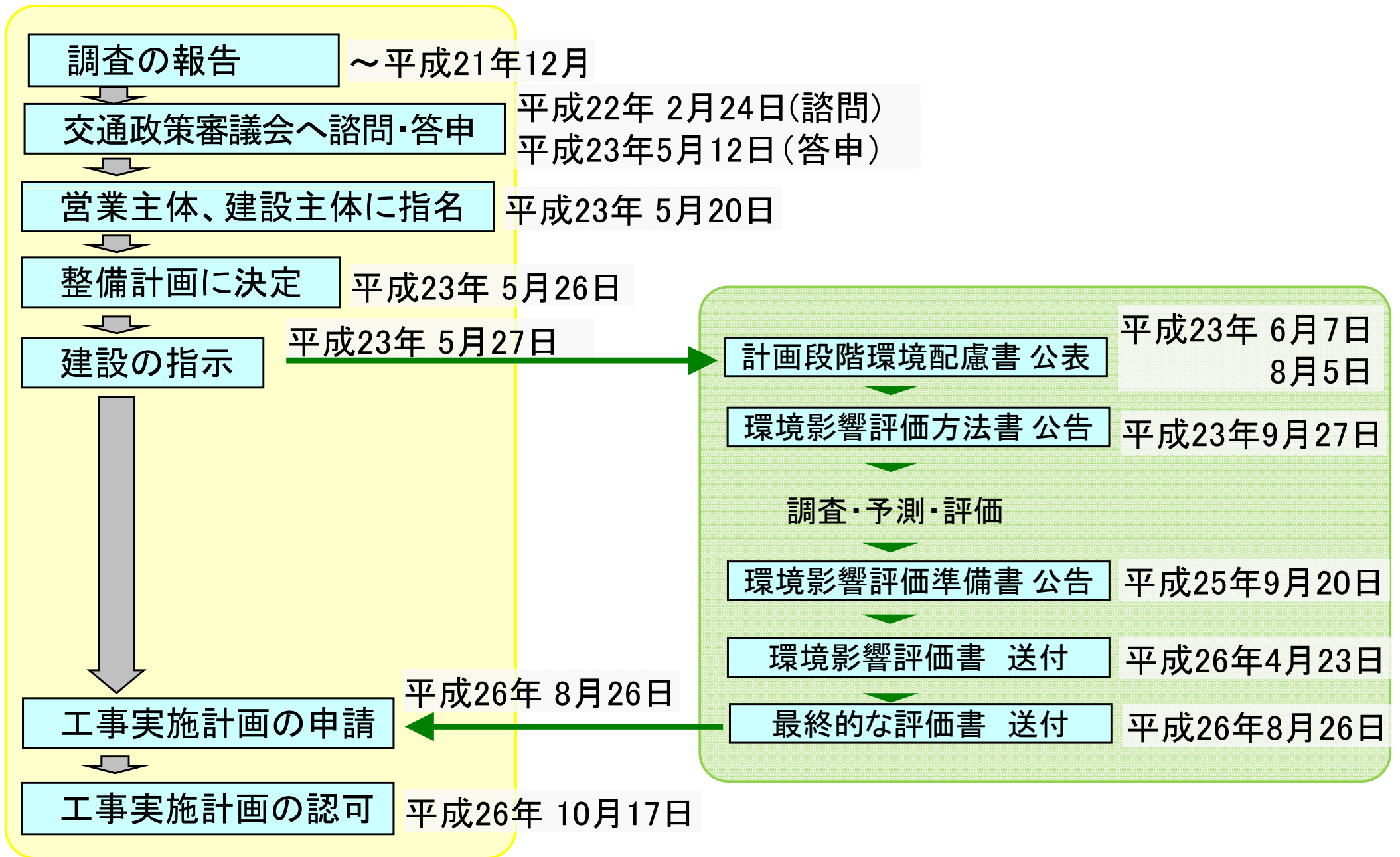
本日のご説明内容

- ① 事業の意義
- ② これまでの取り組み内容
- ③ 中央新幹線計画(品川・名古屋間)の概要
- ④ 中央新幹線の施設等の概要
- ⑤ 地区ごとの計画の概要
- ⑥ 環境保全の取り組み
- ⑦ 構造物設置、工事及び用地取得に伴う補償
- ⑧ 今後の進め方・予定

これまでの取り組み内容

全国新幹線鉄道整備法

環境影響評価法



工事実施計画の認可

国鉄施第75号

認可書

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 柘植 康英 殿

全国新幹線鉄道整備法第9条第1項に基づき、平成26年8月26日付け中第33号で申請のあった中央新幹線品川・名古屋間工事実施計画（その1）については、認可する。

平成26年10月17日

国土交通大臣 太田 昭宏

※印章なしのものを掲載しています

本日のご説明内容

- ① 事業の意義
- ② これまでの取り組み内容
- ③ 中央新幹線(品川・名古屋間)の概要**
- ④ 中央新幹線の施設等の概要
- ⑤ 地区ごとの計画の概要
- ⑥ 環境保全の取り組み
- ⑦ 構造物設置、工事及び用地取得に伴う補償
- ⑧ 今後の進め方・予定

ルート概要(平面図)

■東京都から山梨県



■静岡県から愛知県



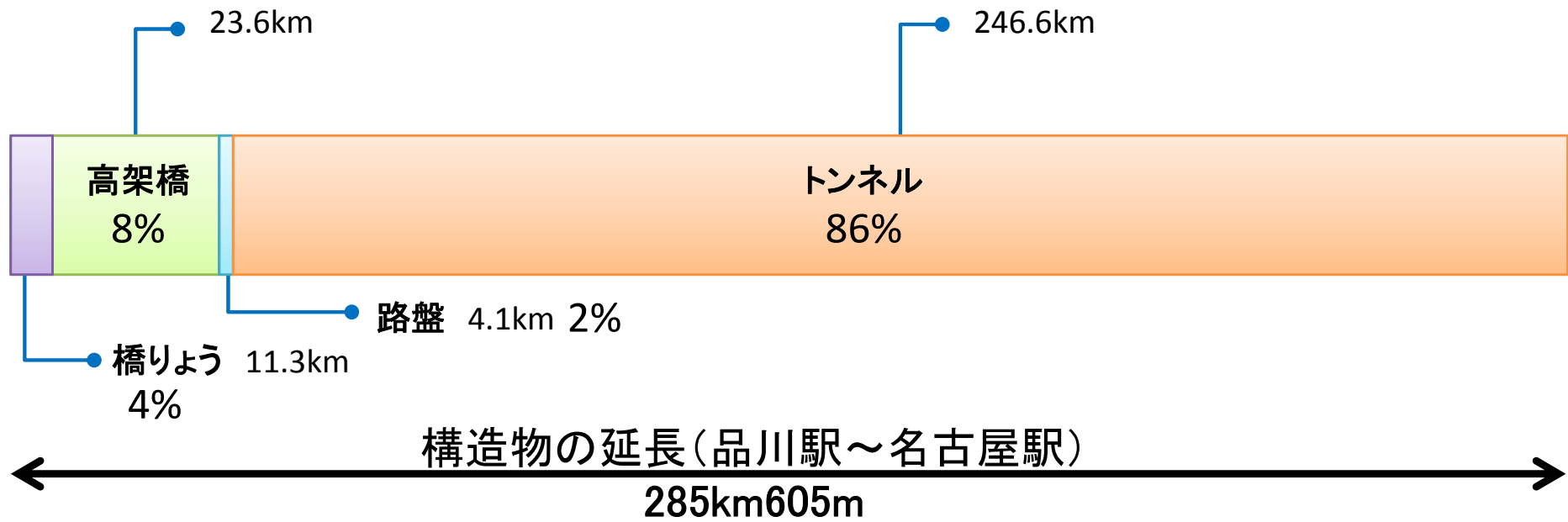
全体概要

・構造物の種類と延長

橋りょう



トンネル



岐阜県の路線概要

・地上部 6.5km、トンネル部 48.6km の路線計画です。



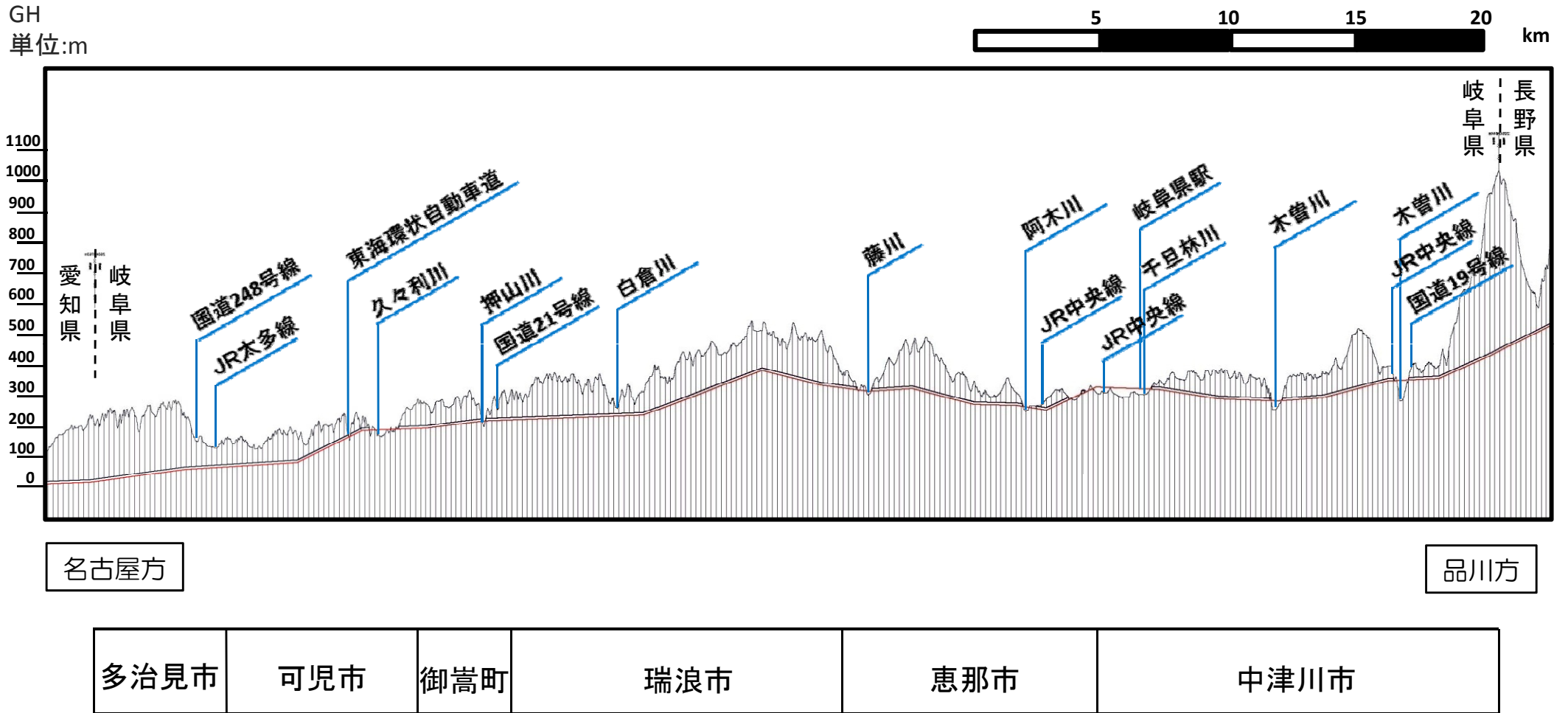
名古屋方

品川方

凡例

- 計画路線(トンネル部)
- 計画路線(地上部)
- 岐阜県駅
- 中部総合車両基地
- 非常口(山岳部)
- 変電施設

岐阜県の路線概要(縦断図)

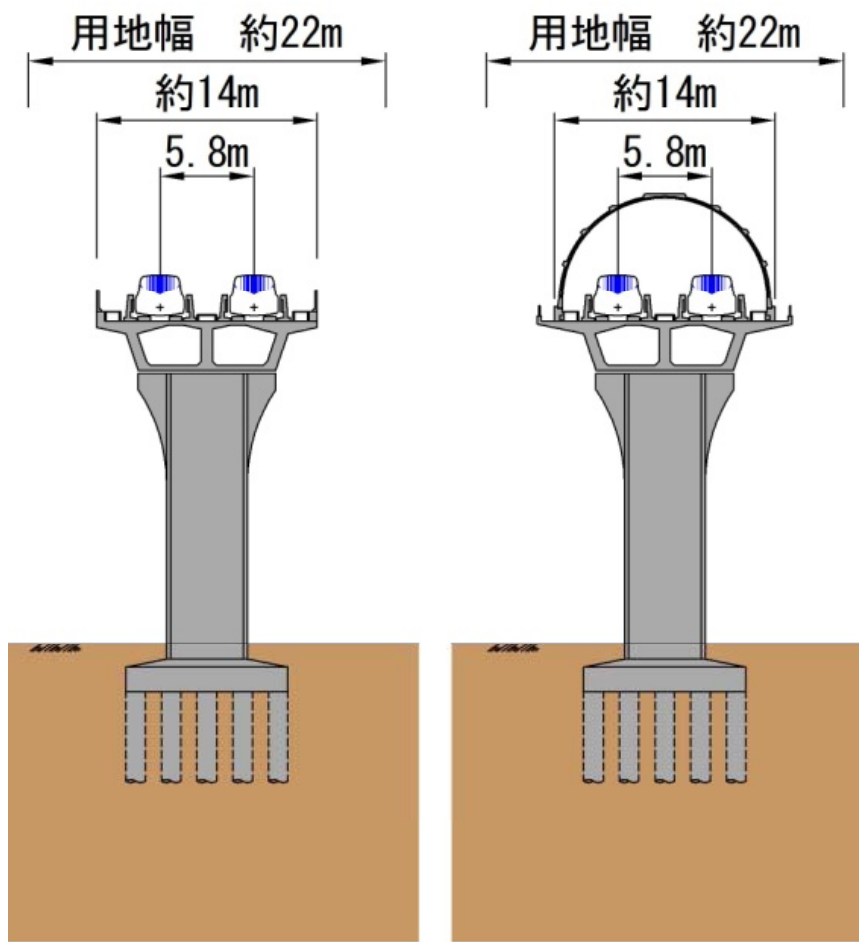


本日のご説明内容

- ① 事業の意義
- ② これまでの取り組み内容
- ③ 中央新幹線(品川・名古屋間)の概要
- ④ 中央新幹線の施設等の概要**
- ⑤ 地区ごとの計画の概要
- ⑥ 環境保全の取り組み
- ⑦ 構造物設置、工事及び用地取得に伴う補償
- ⑧ 今後の進め方・予定

高架橋の概要

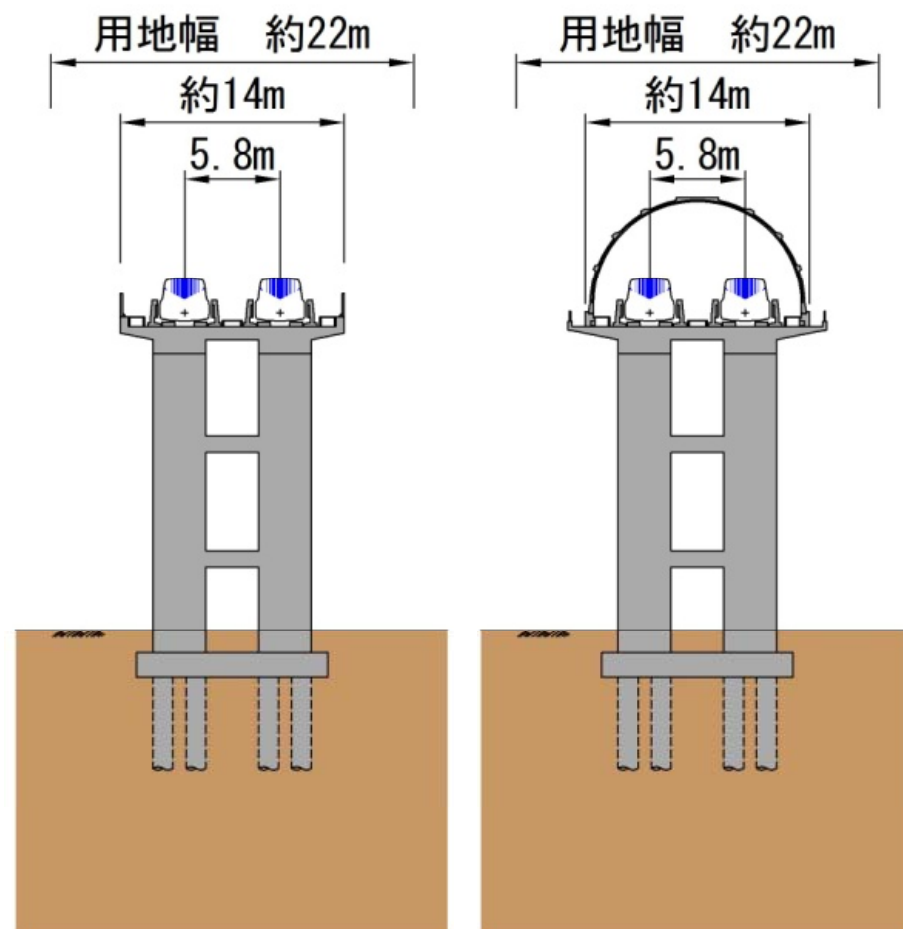
桁式高架橋



防音壁設置部

防音防災フード設置部

新形式高架橋

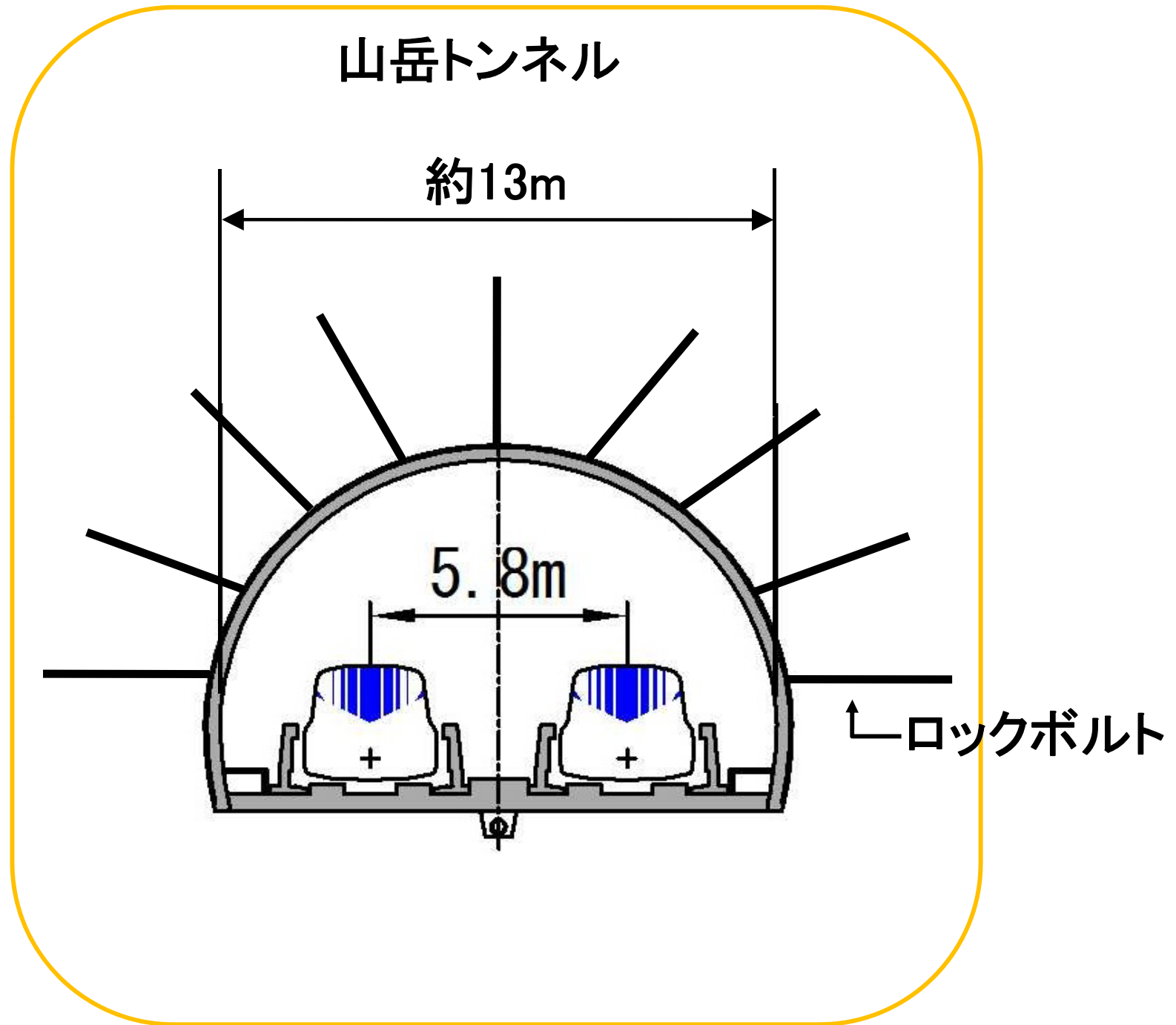


防音壁設置部

防音防災フード設置部

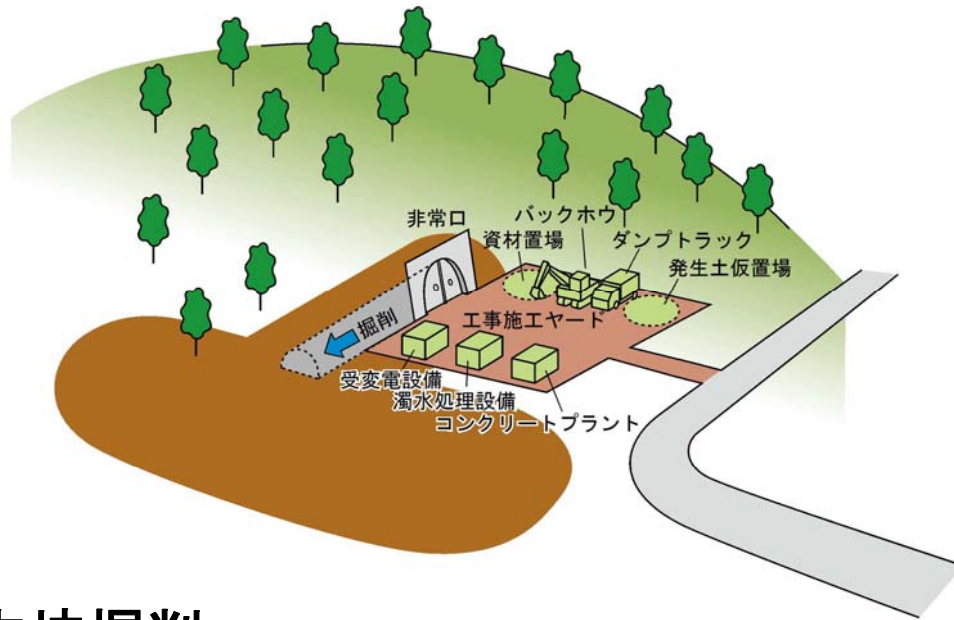
トンネルの概要

山岳トンネル



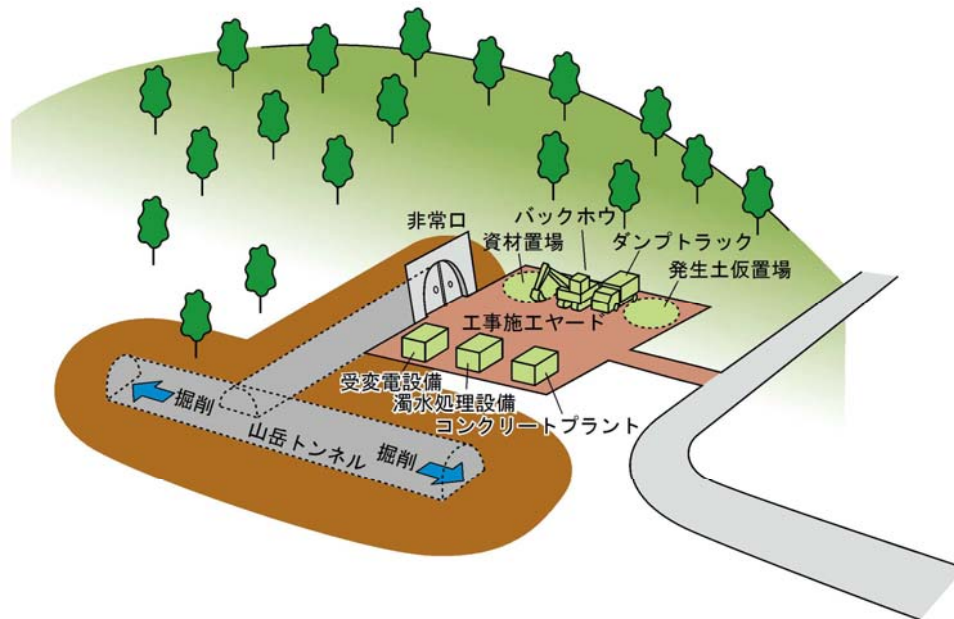
非常口(山岳部)の概要

1. 非常口掘削



- 山岳トンネルの施工は、両端部からのほか一部区域においては、トンネル途中から施工できるように、非常口を掘削して本坑に掘り進めます。

2. 本坑掘削



- 非常口には工事施工ヤードを設けます。

建設発生土への対応について

- 本年8月及び10月に、岐阜県より活用先の候補地の提示を受けました。
- 現在、当社において、規模・地形、周辺環境、運搬距離、行政手続きの有無、環境への配慮などの観点に基づき、候補地を絞り込みを行っています。
- 今後、関係自治体と調整のうえ、地権者等へご説明後、現地調査などを実施します。

平成26年10月28日現在
建設発生土活用(受入)検討候補地

事業種別	市町村	箇所数
公共事業	中津川市	1
	小計	1
民間事業	多治見市	4
	中津川市	21
	瑞浪市	2
	恵那市	13
	土岐市	1
	御嵩町	1
	小計	42
合計		43

発生土置き場の活用事例



施工中

完成後

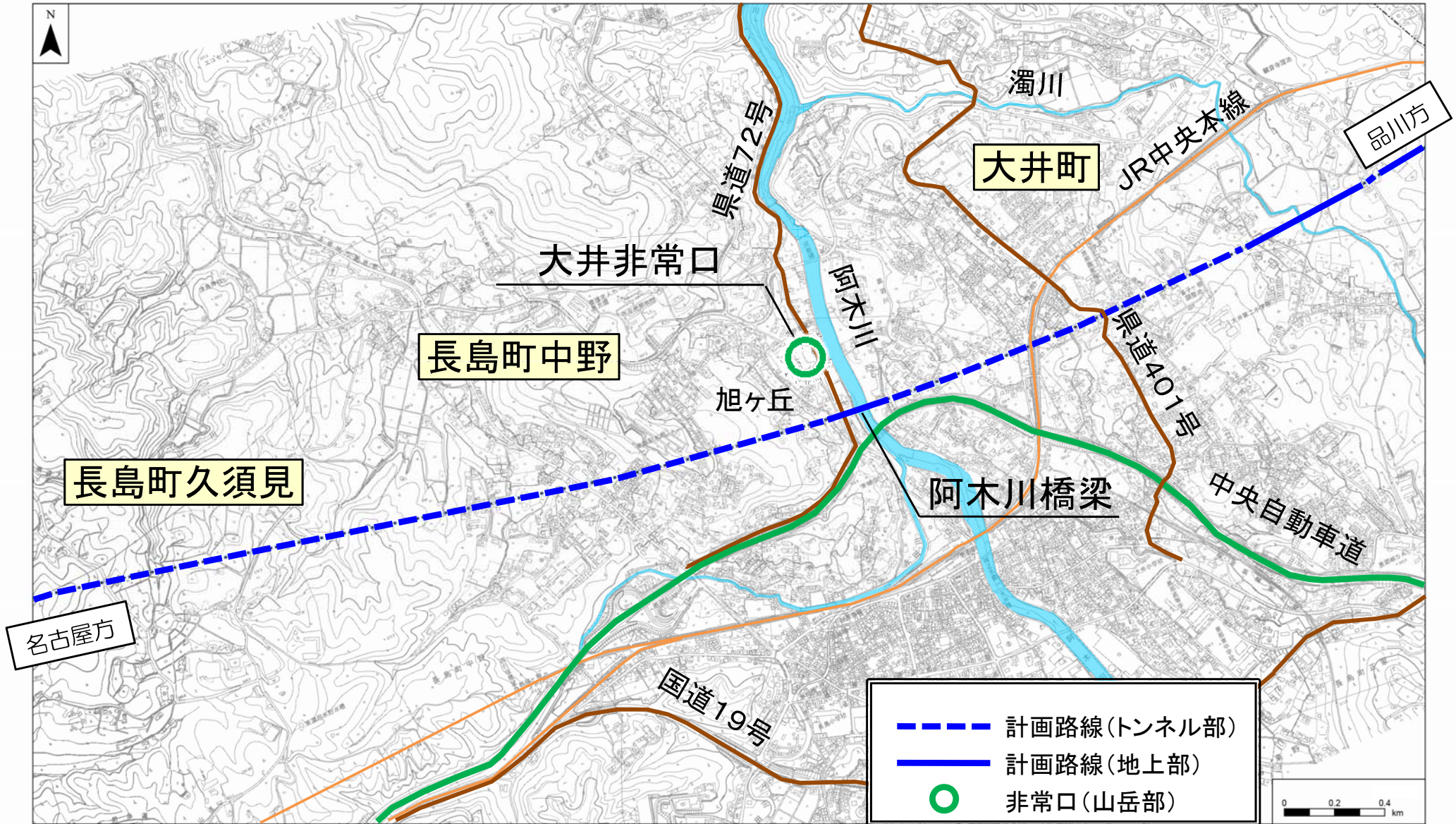


トンネル掘削土を有効利用し、
谷地を埋め立てて農地として活用。
(山梨実験線の有効利用例)

本日のご説明内容

- ① 事業の意義
- ② これまでの取り組み内容
- ③ 中央新幹線の全体概要
- ④ 中央新幹線(品川・名古屋間)の概要
- ⑤ 地区ごとの計画の概要**
- ⑥ 環境保全の取り組み
- ⑦ 構造物設置、工事及び用地取得に伴う補償
- ⑧ 今後の進め方・予定

路線の概要(大井町西部～長島町)



完成後のイメージ(濁川交差点付近)

名古屋方

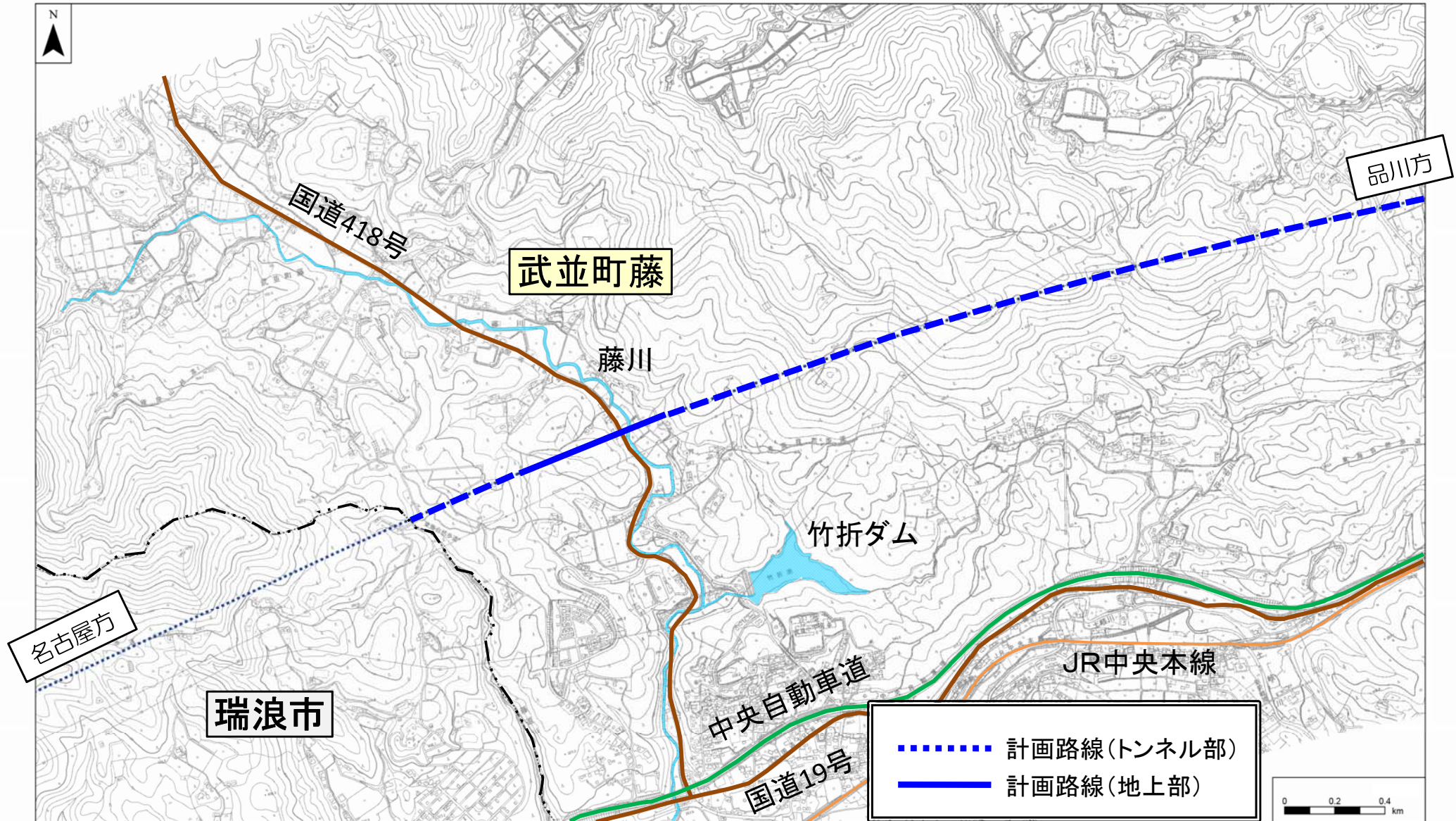
品川方



完成後のイメージ(阿木川交差部付近)



路線の概要(武並町)



完成後のイメージ(藤川交差点付近)

写真撮影地点A



写真撮影地点B



本日のご説明内容

- ① 事業の意義
- ② これまでの取り組み内容
- ③ 中央新幹線計画(品川・名古屋間)の概要
- ④ 中央新幹線の施設等の概要
- ⑤ 地区ごとの計画の概要
- ⑥ 環境保全の取り組み
- ⑦ 構造物設置、工事及び用地取得に伴う補償
- ⑧ 今後の進め方・予定

工事中の環境保全の取り組み(工事施工ヤード)



・防音扉の採用



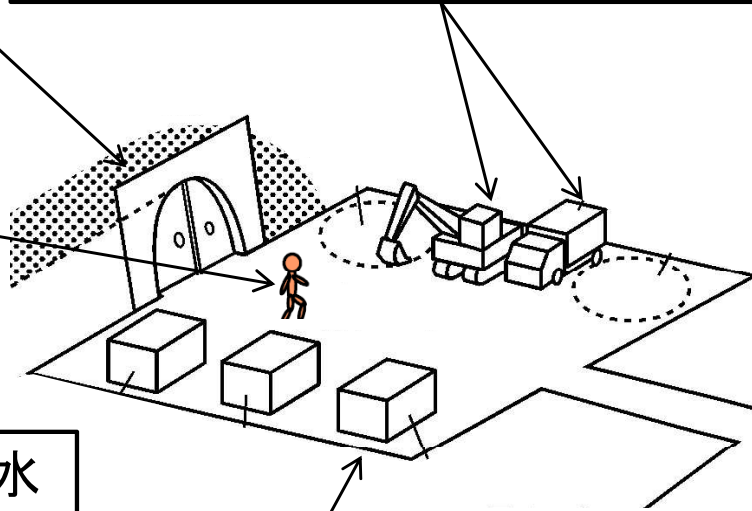
・排出ガス対策型建設機械の稼働
・低騒音・低振動型建設機械の採用



・工事排水の適切な処理
・工事排水の監視
・放流時の放流箇所及び水温の調整



・工事現場の清掃及び散水



・仮囲い・防音シート等の設置による遮音対策

・工事の平準化
・工事に伴う改変区域をできる限り小さくする
・工事従事者への講習・指導
・高負荷運転の抑制

工事中の環境保全の取り組み(工事用車両の運行)

・環境負荷低減を意識した運転の徹底

・交通誘導員による誘導



・車両の出入り口や周辺道路の清掃及び散水、タイヤの洗浄
・荷台への防塵シート敷設及び散水



・車両の点検・整備による性能維持
・工事の平準化
・工事従事者への講習・指導

供用後の環境保全の取り組み(騒音、微気圧波)

○騒音

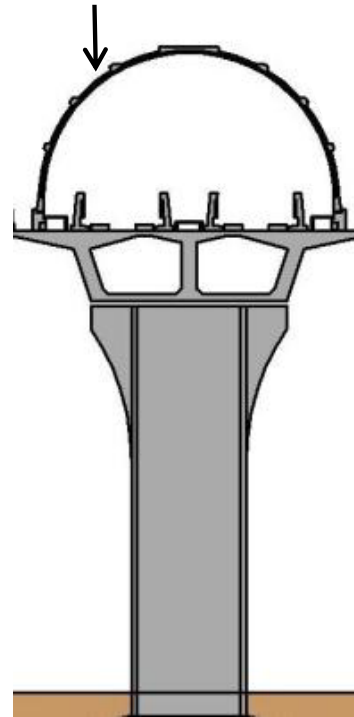
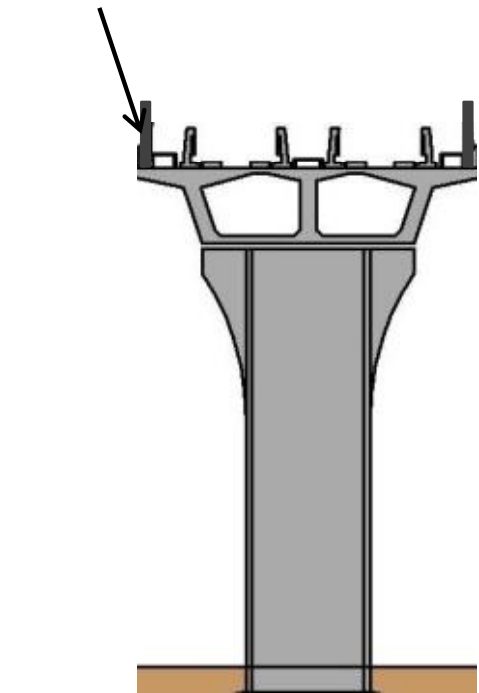
- ・防音壁、防音防災フードの設置



防音壁



防音防災フード

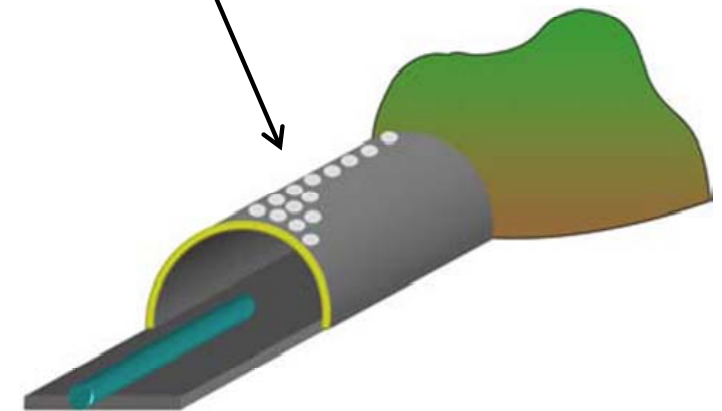


○微気圧波

- ・緩衝工、多孔板の設置



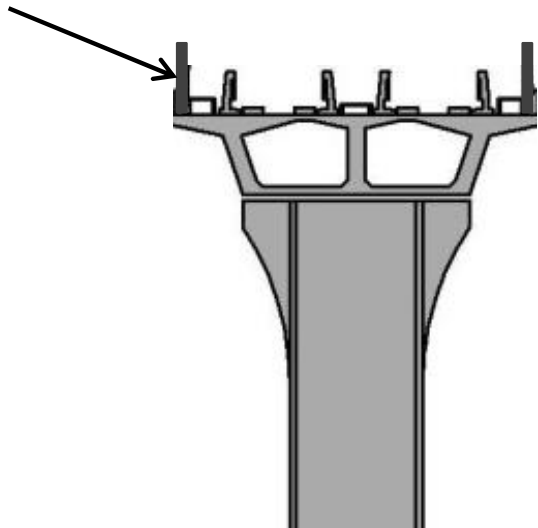
緩衝工



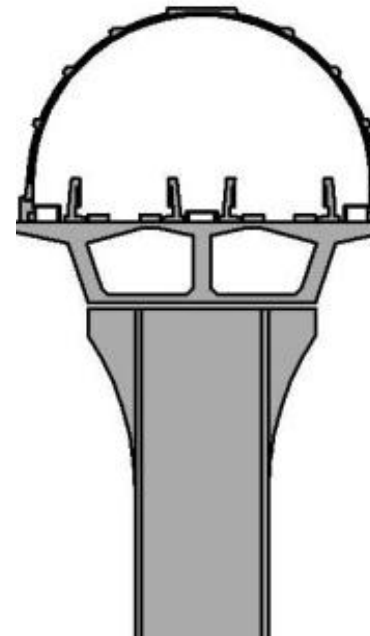
環境対策工の考え方

- 地上区間の環境対策工は、防音壁を基本に考えています。
- 必要に応じて、土地利用対策や個別家屋対策を含めて、総合的な対策を講じます。
- ただし、住居等が多く存在している集落の区域や病院等の保全施設が近くにあるところにおいては、防音防災フードを計画します。
- 環境対策工の配置については、県及び沿線市町と調整のうえ決定し、計画の進捗に合わせて今後の説明会等でご説明します。

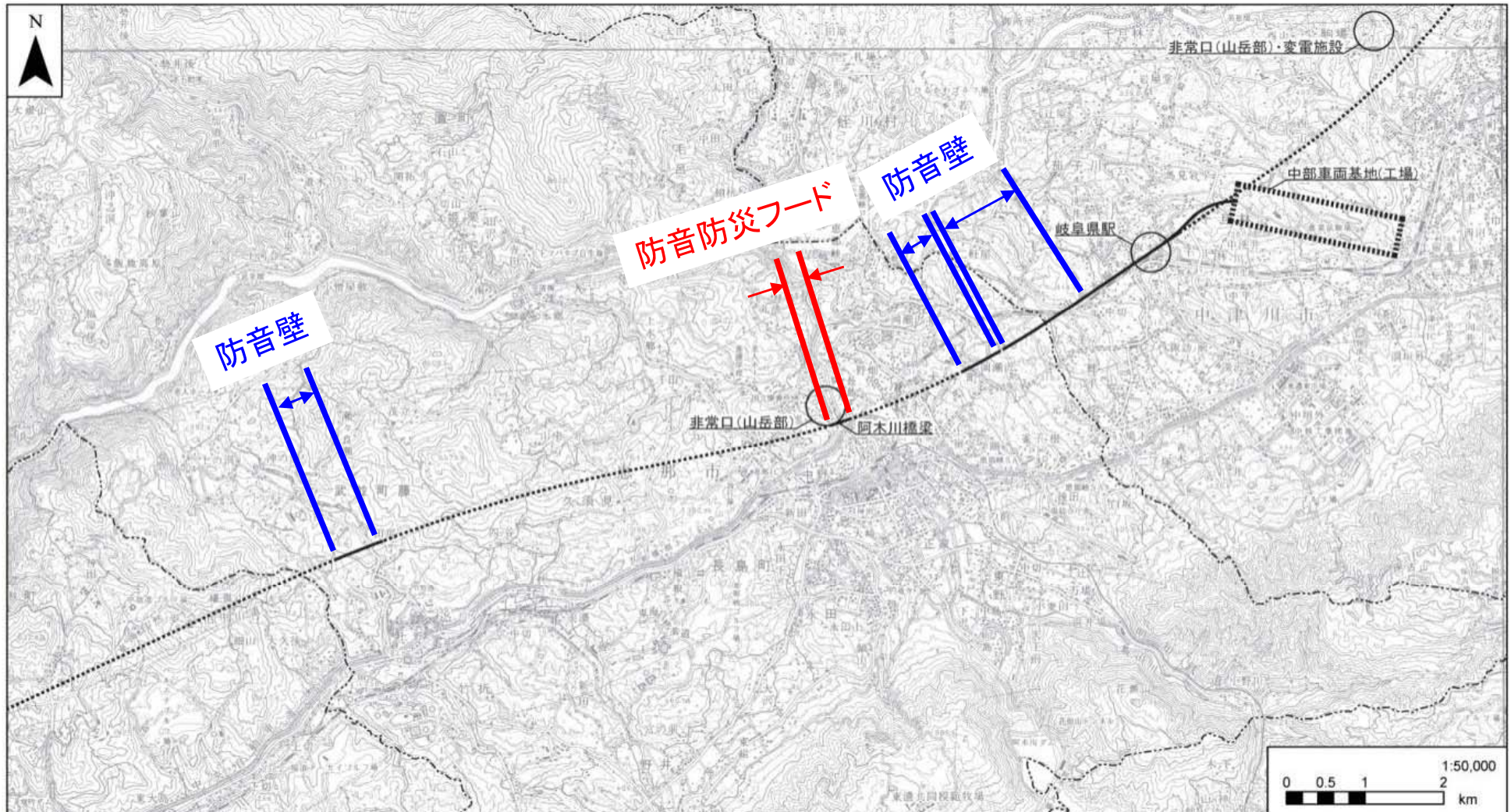
防音壁



防音防災フード



環境対策工の配置(恵那市)



※ 環境影響評価において前提としたものを示しています。
今後、岐阜県及び恵那市と調整のうえ、決定します。

環境調査(事後調査、モニタリング)

環境影響評価書に記載した「事後調査」を実施します。

	区分	調査項目
事後調査	トンネル部	水資源、地盤沈下
	地上部	動物、植物、生態系
	発生土置き場	水資源、動物、植物、生態系

また、事業者の自主的な取組みとして、「モニタリング」を実施します。

	調査時期	調査項目
モニタリング	工事期間中	大気質、騒音、振動、 水質、水底の底質、水資源、土壌汚染、 動物、植物、生態系
	完成後	大気質、騒音、振動、微気圧波、低周波音、 水質、磁界
	発生土置き場	大気質、騒音、振動、 水質、水資源

環境調査(水資源)

	調査項目	調査時期	調査内容
事後調査	個人井戸の利用状況等	工事前	使用量等の聞き取り
	井戸の水位 湧水の水量 地表水の流量	工事前	工事前の1年間、月1回
		工事中	月1回の観測を基本
		工事後	完了後3年間、4季を基本
モニタリング	自然由来重金属等 酸性化可能性 pH	工事前	工事前に1回
		工事中	毎年1回

○「個人井戸の利用状況等」の調査の具体的な時期や範囲等は、地元自治体と調整のうえ、住民の皆様にお知らせします。

○「井戸の水位」の調査地点は、個人井戸の利用状況等を確認したうえで、今後検討いたします。

○「地表水の流量」については、評価書でお示した「事後調査」及び「モニタリング」に加えて、調査地点を設定し、観測を継続します。

磁界の影響のポイント

- ・国際的なガイドライン(ICNIRPのガイドライン)以下では、磁界による健康への影響はありません。
- ・超電導リニアでは、国の基準であるICNIRPのガイドライン以下に磁界を管理します。
- ・山梨リニア実験線における実測結果でも、国の基準であるICNIRPのガイドラインを大きく下回っています。

磁界の公開測定の様子(H25年12月)



本線から水平に
離れた地点で測定

トンネル上部の
地点で測定

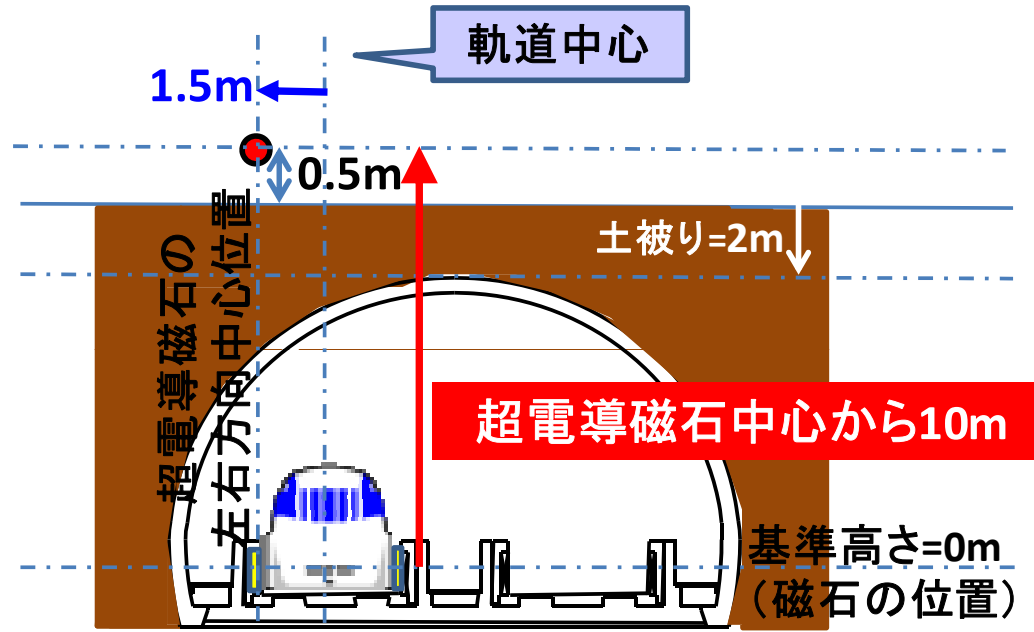


磁界の公開測定の結果(トンネル上部)

●測定点の概要

トンネル上部で土被りが薄い箇所(土被り約2 m)

●測定位置及び測定結果



●測定結果 (複数回測定したデータのうち最大値を記載)

	300 km/h測定値	400 km/h測定値
測定値(測定機器1) 変動磁界の値	0.017 mT	0.018 mT
ICNIRPガイドラインに 対する比率の測定結果 (測定機器2)	1.3 %	1.7 %
ICNIRPガイドライン	1.2 mT (5.7 Hz@500 km/h) 3.4 mT (3.4 Hz@300 km/h)	1.2 mT (5.7 Hz@500 km/h) 1.9 mT (4.6 Hz@400 km/h)

※地磁気(リニア車両がない時の磁界)の大きさは、約0.04 mT

本日のご説明内容

- ① 事業の意義
- ② これまでの取り組み内容
- ③ 中央新幹線計画(品川・名古屋間)の概要
- ④ 中央新幹線の施設等の概要
- ⑤ 地区ごとの計画の概要
- ⑥ 環境保全の取り組み
- ⑦ 構造物設置、工事及び用地取得に伴う補償
- ⑧ 今後の進め方・予定

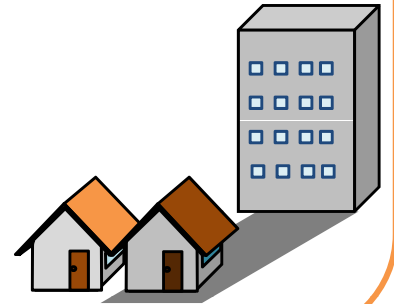
構造物設置に伴う補償

日陰により生ずる住宅居住者への補償

国のルールに従って補償を実施してまいります。

補償の考え方

日照障害により暖かさの減少、明るさの減少、洗濯物の乾きにくさ等が考えられますので、暖房器具による暖房、蛍光灯による照明、乾燥機による洗濯物の乾燥に要する費用などを負担いたします。



日陰により生ずる太陽光発電施設への補償

現状は、国のルールがございませんが、個別に状況を把握しながら、損失が生じた場合の対応について検討いたします。

構造物設置に伴う補償

日陰により生ずる農作物への補償

国のルールに従って補償を実施してまいります。

補償の考え方

農地で栽培されている水稻、果樹、牧草などの農作物に対して、地上構造物設置に伴う日陰時間の増加により、農作物の収穫高の減少が明らかになった場合、この損害等を補てんする費用を負担いたします。

テレビジョン電波受信障害への補償

国のルールに従って補償を実施してまいります。

補償の考え方

通常テレビジョン放送の良好な受信が可能な地域において、テレビジョン放送用の電波が地上構造物の影響を受けることによって、良好な受信が困難となった場合には、良好な受信ができるように機能を回復することに要する費用を負担いたします。

工事に伴う補償

工事に起因する水枯渇等による用水使用者への補償

国のルールに従って補償を実施してまいります。
また、工事施行にあたっては、環境保全措置等を実施してまいります。

補償の考え方

工事施行により、水枯渇・渇水等が生じ、必要な水量の確保が不可能となった場合には、生活用水・農業用水等を使用している方に対して、既存の施設の機能を回復することに要する費用を負担いたします。

工事に起因する地盤変動による建物等への補償

国のルールに従って補償を実施してまいります。
また、工事施行にあたっては、環境保全措置等を実施してまいります。

補償の考え方

工事施行により、地盤沈下等が発生し、建物等が損傷または損壊した場合に、原状回復するために要する費用を負担いたします。

用地取得に伴う補償

用地取得の手順



補償金の算定

適正で公平な補償を行うため、国が定めた基準に基づき算定した補償額を金銭で補償します。

なお、損失の補償は、土地や建物等の権利者に対して、個別に行います。

補償の種類

土地、建物、工作物、立竹木、動産移転、移転雑費、営業、借家人 等

国のルールおよび国のルールに則り定められた指針

『公共用地の取得に伴う損失補償基準要綱』（S37.6.29 閣議決定）

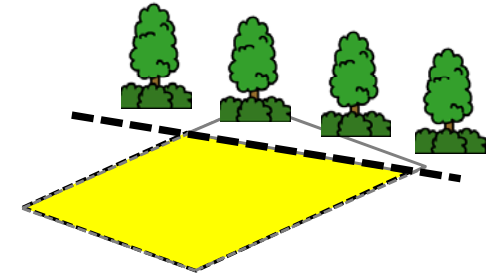
『公共用地の取得に伴う損失補償基準』（S37.10.12 用地対策連絡会決定）

用地取得に伴う補償

土地の補償

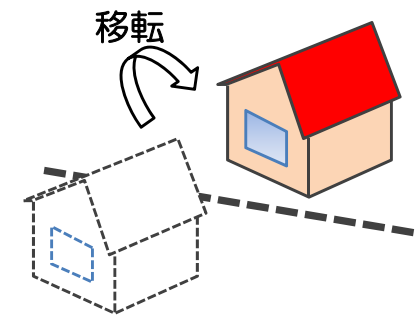
公示価格や基準地価格、不動産鑑定士による鑑定評価を参考に正常な価格を算定します。

譲っていただく土地を他の人に貸している場合は、土地の所有者と権利者の双方で権利割合を話し合ってください、その割合に応じて補償します。



建物の補償

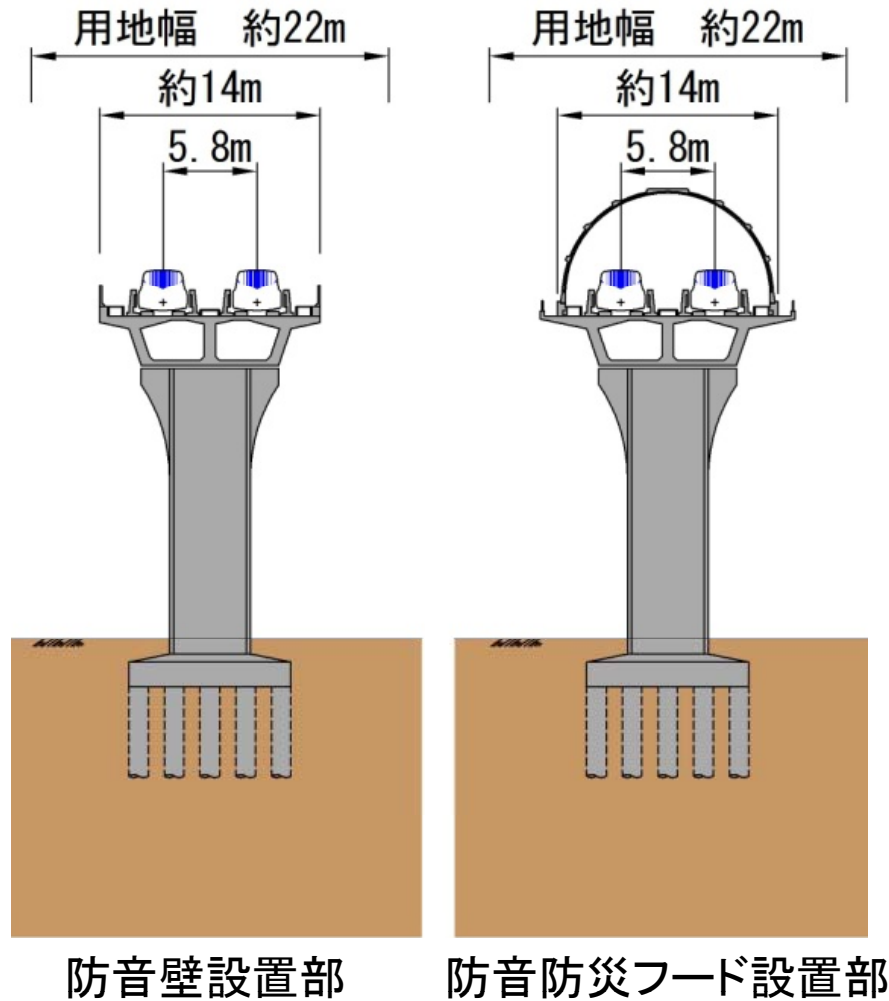
建物を移転していただく場合は、合理的な移転方法（再築・曳家・改造等）を定め、その方法によって移転するのに要する費用を補償します。



補償の内容及び補償金については、それぞれの権利者の方々に十分説明いたします。ご承諾いただけましたら、当社が作成した契約書に署名・押印していただき、契約の締結となります。

地上区間における用地取得

桁式高架橋



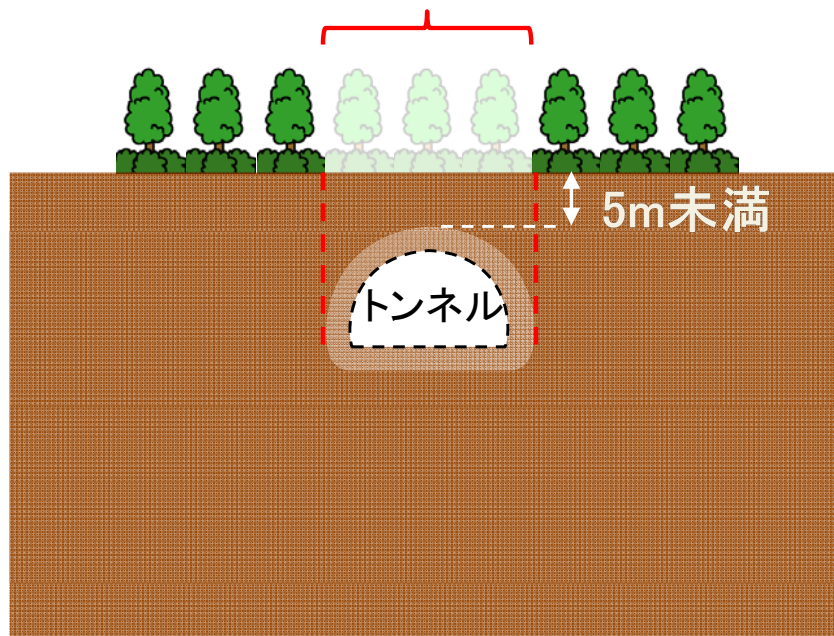
- ・ 用地幅は、構造物の両側に緩衝帯として4mを確保して約22mを計画しています。
- ・ 道水路の付替えにより、取得する範囲が増える場合があります。
- ・ 岐阜県駅付近については、駅の幅に応じた用地幅にて取得させていただきます。
- ・ この他、車両基地、変電所、非常口等に必要な範囲を取得させていただきます。

岐阜県内のトンネル区間における用地取得

- トンネルのロックボルトなど必要な幅を確保し、用地幅とします。

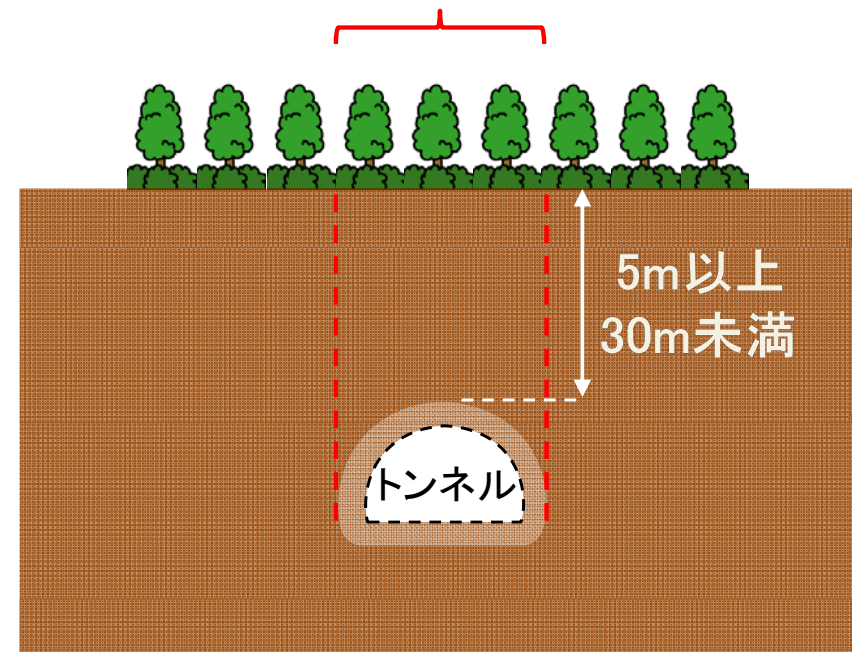
① トンネルの上部が、
5m未満の場合

土地を取得



② トンネルの上部が、
5m以上30m未満の場合

区分地上権を設定



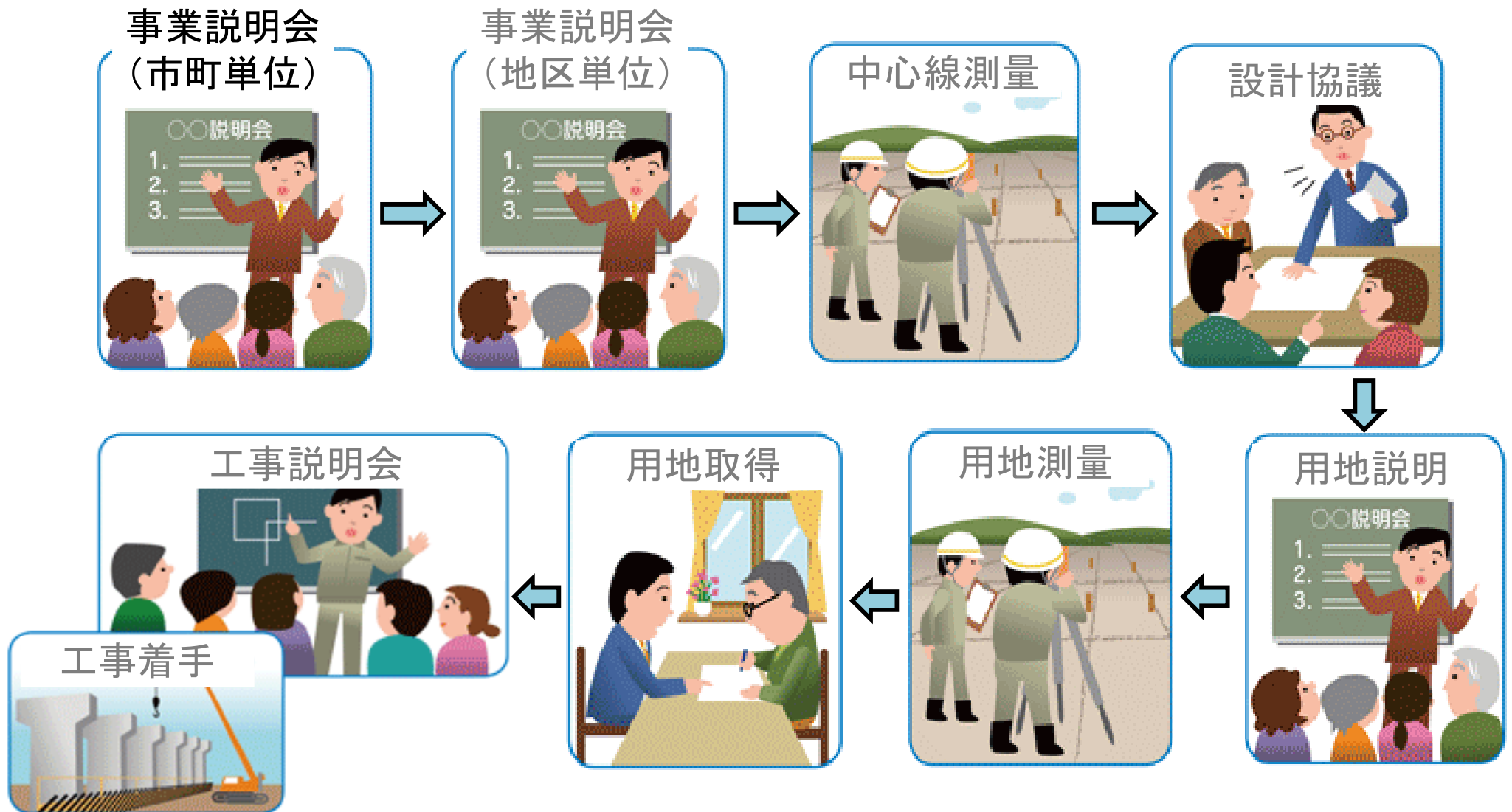
※区分地上権 : 工作物を所有するため、
地下又は空間において土地を使用する権利

本日のご説明内容

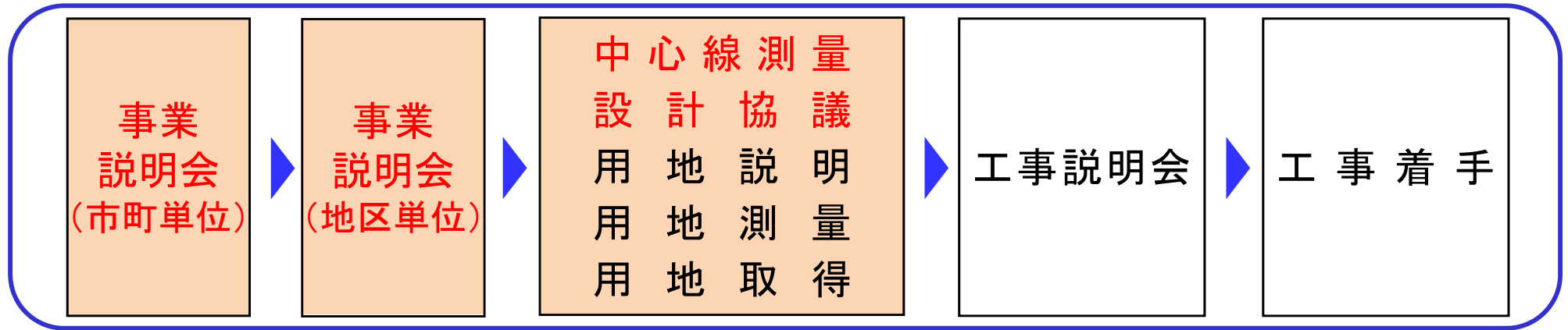
- ① 事業の意義
- ② これまでの取り組み内容
- ③ 中央新幹線計画(品川・名古屋間)の概要
- ④ 中央新幹線の施設等の概要
- ⑤ 地区ごとの計画の概要
- ⑥ 環境保全の取り組み
- ⑦ 構造物設置、工事及び用地取得に伴う補償
- ⑧ 今後の進め方・予定

今後の進め方

中央新幹線建設は、次のような手順で進めてまいります。
工事に際しては、環境対策や安全対策に万全を尽くして
参りますので、地元の皆さまのご協力をお願いいたします。



事業説明会



- 市町単位の事業説明会は本日のこの場となります。
- 地区単位の事業説明会の開催日時・場所については、地区ごとの回覧等によりお知らせいたします。
- 関係者のご理解を頂いた箇所から現地での中心線測量等を実施させていただきます。
- 並行して行政機関等と道路や水路の付替え等について協議します。

中心線測量

計画路線の中心点を現地に設置します。

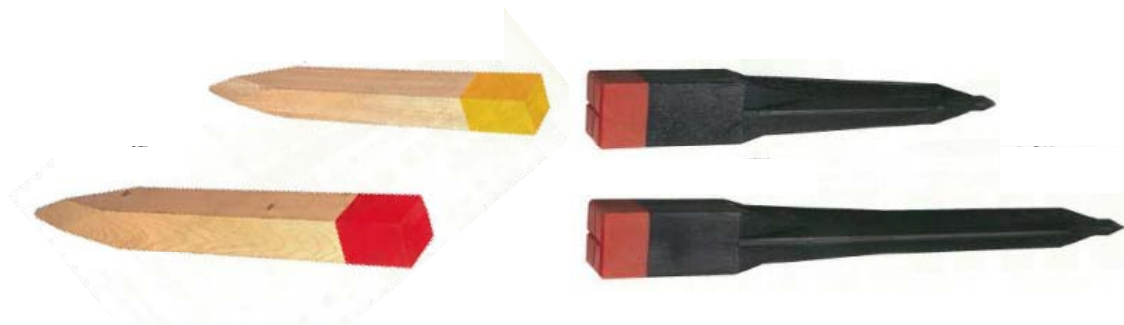
中心点は20～100mピッチで杭・鋳等を現地に打ち込んで設置します。



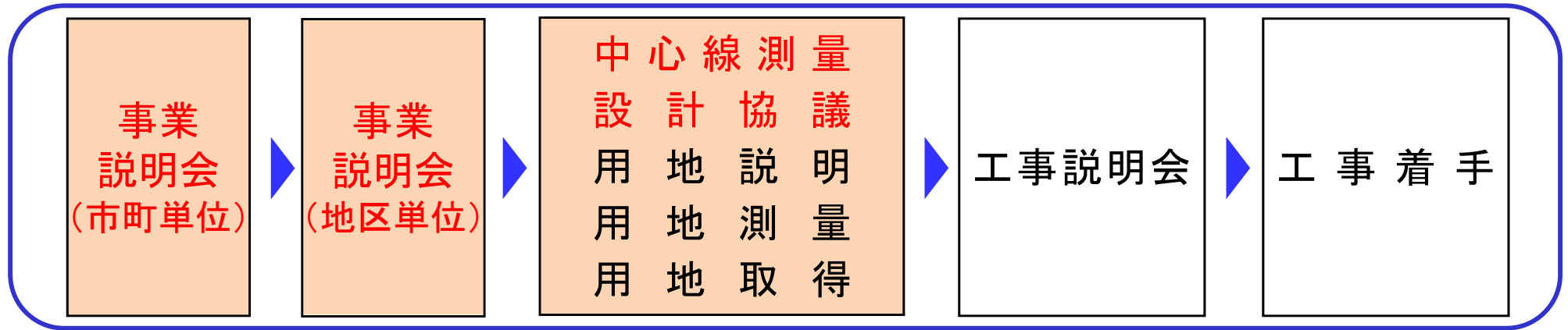
中心点鋳イメージ



中心杭、横断測量の方向杭、用地幅杭イメージ
(木 杭) (プラスチック杭)

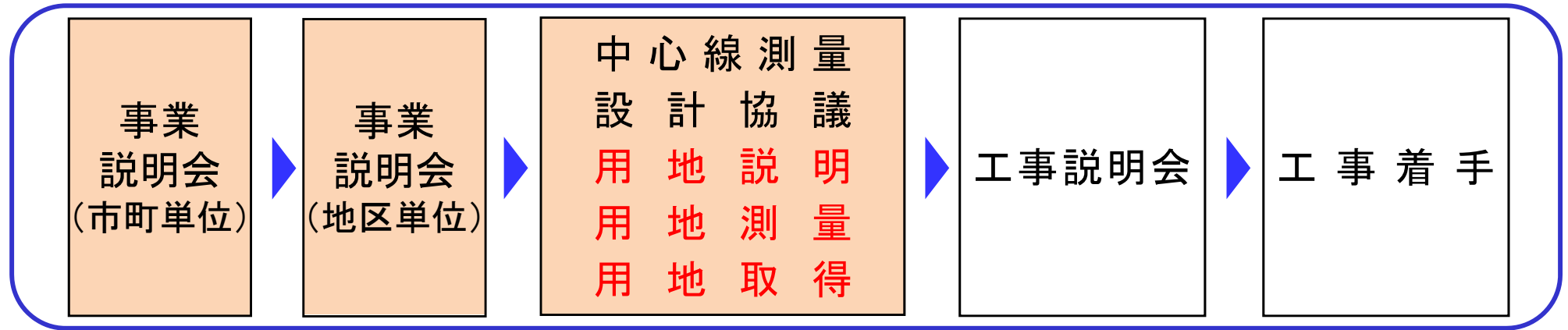


事業説明会



- 市町単位の事業説明会は本日のこの場となります。
- 地区単位の事業説明会の開催日時・場所については、地区ごとの回覧等によりお知らせいたします。
- 関係者のご理解を頂いた箇所から現地での中心線測量等を実施させていただきます。
- 並行して行政機関等と道路や水路の付替え等について協議します。

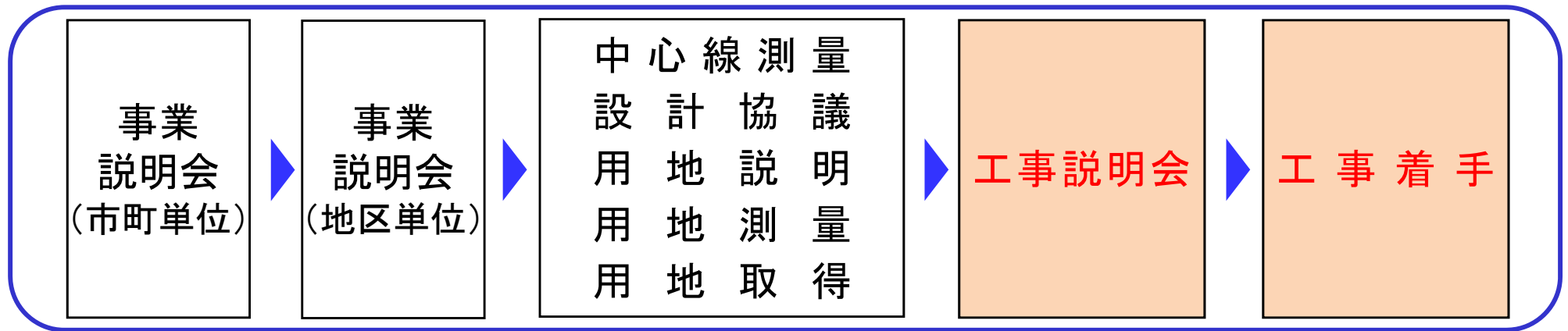
地元のご理解を得ながら測量・設計・用地取得等を進めていきます



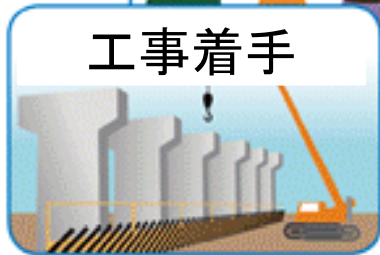
- 中央新幹線建設に必要なとなる用地の幅を示す杭を現地に設置したうえで、用地説明及び用地測量を行います。
- 用地取得のため、関係者に個別にご説明を行います。



工事説明会・工事開始



- 構造物の詳細な設計に基づき、工事を契約したうえで、工事説明会を開催します。



- 工事説明会では、
 - 工事の具体的な施工方法や施工手順
 - 工事中の安全対策、環境保全対策
 - 工事用車両の種類、通行ルート、台数 などについて説明します。
- 工事実施にあたっては、地元のご理解をいただきながら、進めていきます。

用地取得までのスケジュール(地上区間)

地区ごとに異なりますが、概ね以下のとおりを予定しています

地上区間	H26年度		H27年度				H28年度				H29年度 以降
	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	
事業説明会	■										
中心線測量		■	■								
設計協議	■	■	■	■							
用地説明					■	■	■	■	■		
用地測量						■	■	■	■	■	
用地取得							■	■	■	■	■

用地取得までのスケジュール(非常口、変電施設)

地区ごとに異なりますが、概ね以下のとおりを予定しています

非常口・ 変電施設	H26年度		H27年度				H28年度				H29年度 以降
	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	
事業説明会	■										
現地調査		■	■								
設計協議	■	■	■								
用地説明				■	■	■	■	■	■	■	
用地測量				■	■	■	■	■	■	■	
用地取得					■	■	■	■	■	■	■

地質調査について

- 工事計画策定のため、各地区で地質調査を実施します。
- 地質調査の実施にあたっては、調査地点ごとに、関係の方にお知らせしたうえで、進めてまいります。



ボーリング調査



物理探査(電気探査)



物理探査(弾性波探査)

環境調査について

- 環境影響評価書に記載した環境保全措置、事後調査及びモニタリングのうち、一部の項目について、工事着手前に開始します。



水資源(井戸)調査



動植物調査



動物(鳥類)調査

問い合わせ先

東海旅客鉄道株式会社

中央新幹線岐阜工事事務所 (TEL 0573-85-6825)

環境保全事務所(岐阜) (TEL 0573-65-6820)

住所 岐阜県中津川市太田町2-3-5 青松ビル2F

(受付日時／土・日・祝日・年末年始を除く平日 9時～17時)

